唐津市離島通院費補助金 Q & A

Q 1 この補助金はどのようなものですか？

離島にお住まいの方がいつまでも元気に離島で生活できるよう、島外への医療機関へ通院する際に利用する定期船の片道分の船賃を補助し、経済的負担を減らすことで、疾病の早期発見や早期治療を促すことを目的とするものです。

Q 2 補助金の対象となる診療科目を教えてください

これまでは、「歯科、耳鼻咽喉科、産婦人科・妊婦健診」のみが対象でしたが、令和7年8月1日以降の通院から、すべての診療科目を対象とします。

なお、「診察又は治療を受けることその他これに準ずる行為」のうち、「これに準ずる行為」とは、国民健康保険や社会保険等の保険者の適用を受け、医師の指示のもと、医療機関で行うリハビリ等のことを指します。

(例示)

- ・ 医療機関で診察または治療など、診療行為を受けるときが対象です。
- ・ 人間ドック、健康診査を受けるときは対象外です。
- ・ 予防接種は、対象です。ただし、離島診療所でも多くの予防接種が受けられますので、なるべく離島診療所で接種していただけるようご協力ください。
- ・ 医療機関ではない鍼灸院、整骨院等への通院は、対象外です。
- ・ 自由診療は、対象外です。

Q 3 補助金の対象者は？

通院の日に本市の離島に住民登録があり、かつ、居住している人が対象です。

なお、未成年（満18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者をいう。）の場合は、その保護者が補助金を申請します。

なお、申請時に成人（満18歳に達する日以後の最初の4月1日以降）している場合は、契約行為者実際に通院した者が申請者となります。

Q 4 子どもの通院に付き添った保護者は対象になりますか？

小学生以下の子どもの通院に同伴する保護者も補助金を受給できます。

ただし、子ども1名につき定期船に同乗した保護者1名までが対象です。同伴した回数を加算し、補助金の額を決定します。

(対象の例) 病人 6歳の子ども・・・対象
 付き添い 父母 ……どちらか1人分が対象
 同行 4歳の子ども・・・対象外

▼保護者の同伴がある場合は、同伴した通院日に○を付けてください

〔申請者記入欄〕					通院した医療機関名								
					ちんぜい内科								
	8月	10月	12月	2月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
通院日	7日	9日	12日	5日									
	12日		26日		計の欄は、通院日の回数でOKです								
計	2回	1回	2回	1回	回	回	回	回	回	回	回	回	回

〔医療機関証明欄〕
 上記のとおり、当院へ通院したことを証明します。
 令和8年3月18日
 医療機関名 住所 唐津市西城内1丁目1番
 名称 ちんぜい内科
 院長 鎮西 次郎

Q 5 祖父母も「保護者」になりますか？

祖父母が小学生以下の子どもの通院に付き添った場合も対象になります。

なお、保護者とは、通院を要する未成年の子ども（満18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者をいう。）を監護する者で、かつ、三親等以内の親族とします。

ただし、お子さんの保護者で島外に住民票がある方は、対象外です。

Q 6 定期乗船券を使って診療した場合は、対象になりますか？

対象外です。

通勤又は通学のための定期乗船券を使って、島外の病院に通院したときは対象となりません。

ただし、通院のために定期乗船券を購入している場合は、通院1日当たり片道の船賃を補助します。定期乗船券の半額にはなりません。

Q 7 夏休み等で定期券を持っていないときは対象になりますか？

対象です。

夏休みなど、教育委員会から定期券が支給されない期間は、この補助金の対象となります。定期券の有効期間の確認が必要ですので、定期券のコピー等を申請書に添えて、市の担当者の確認を受けてください。

Q 8 他の制度を利用したときは対象になりますか？

次のような場合は、対象外です。

- (1) 障がい者手帳など、すでに他の制度を利用して定期船の船賃が免除されている人は対象外です。
- (2) 国民健康保険や社会保険等の保険者から移送費が出る場合は、対象外です。

Q 9 海上タクシーを利用したときは、対象になりますか？

海上タクシー（高島・神集島）を利用した通院も対象になります。

ただし、一般旅客定期航路事業の片道分の船賃を上限とします。

Q 10 海上タクシーをチャーターしたときは対象になりますか？

海上タクシーをチャーターした場合は対象外です。ただし、次のような場合は他の制度の適用があります。

- (1) 急病等で海上タクシーをチャーターした場合において、国民健康保険や社会保険などの保険者からの移送費がでないときは、唐津市離島救急患者船舶借上費補助金交付要綱による補助が受けられます。
- (2) 中学生が放課後や部活の後、急病等により定期船に間に合わず、緊急に海上タクシーを利用して帰島したときは、唐津市離島中学生海上タクシー利用実施要綱が適用されます。

Q 11 補助金の額はいくらですか？

補助金の額は、1日当たり定期船（一般旅客定期航路事業）の片道分の船賃を限度とします。

また、高島・神集島の方が海上タクシーを利用したときも、海上タクシーの船賃の半額ではなく、それぞれの定期船の片道分の船賃を算定の基礎とします。

Q 1 2 1日に複数の病院に通院したときはどうなりますか？

この補助金は、通院にかかる片道分の船賃を補助するものです。

1日に複数の医療機関を受診した場合も、1日当たり片道分の船賃を上限額とします。

申請する場合は、どちらか1つの病院から証明を受けてください。同日に複数の病院の証明は不要です。

Q 1 3 入院したときはどうなりますか？

入院日、退院日のどちらかに定期船等を利用した場合は対象です。

Q 1 4 親せき宅、知人宅等から通院したときは対象になりますか？

診察日に、定期船を利用した場合は対象です。

Q 1 5 申請ができる期限はいつまでですか？

診療日の属する月の翌月から起算して1年間申請できます。

月単位でも申請できるので、ある程度、通院回数がまとまってから申請されることをお勧めします。

Q 1 6 通院日の記入、医療機関の証明はどうしたらいいですか？

通院日は、申請者が記入し、通院先の病院で確認の証明を必ず受けてください。

なお、申請内容に不明な点があれば、市が各関係機関に通院記録等を照会、調査することがあります。

その場合、重複申請、不正等が判明したときは、すでに交付した補助金について返還等を求めるなど適正な処分を行うことがあります。

Q 1 7 医療機関では定期船を利用した通院であることを確認すべきですか？

各医療機関において、通院補助の申請をしようとする方から証明のお願いがあった場合は、受付などで必ず口頭で、「定期船を利用した通院か否か」の確認を行ってください。

この場合、定期船の乗船券又は領収証の提示は原則として不要とします。ただし、医療機関等で不正請求の恐れがある場合と思慮されるときは、乗船券又は領収証の確認をお願いします。ご協力よろしくをお願いします。

また、申請時においては、市の担当者が障がい者手帳の有無、他の制度の利用実績、離島から定期船を利用した通院であるか否かについて確認します。

不正等が発覚した場合は、返還等を求めることとなりますのでご注意ください。

Q 1 8 申請書の様式は、以前のものも使用できますか？

令和7年7月分までの通院にかかる補助を受ける場合は、旧様式でも受け付けます。

令和7年8月以降の通院補助は、新しい申請書の様式を使用してください。

なお、令和7年8月以降の通院補助と、それ以前の通院補助を同時に受けようとする場合は、新しい申請書の様式を使用してください。

Q 1 9 申請書の通院日の記入を間違えてしまったときはどうしたいですか？

申請書の通院日の記入欄は、申請者が記入する部分ですので、記入間違いがあれば申請者が二重線（見え消し）で訂正し、正しい通院日を記入してください。

訂正印は、不要です。なお、市で通院記録等を確認し、市の権限で訂正することがあります。その場合は、市の職員が申請書の欄外に職権による訂正を行った旨を記載することとし、申請者に送付する決定通知書で訂正の内容をお知らせします。